

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県海老名警察署協議会
日 時	令和5年10月26日（木）午後1時57分から午後3時45分までの間
場 所	神奈川県海老名警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 猪熊政喜、飯塚由紀子、佐藤修一、二見隆江、高柳敦子、曾田努、坂野千幸 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 下山幸男、副署長 山川 満、警務課長 小澤可憲、留置管理課長 坂田健司、会計課長 園部貴博、生活安全課長 小島章政、刑事課長 小口真也、地域課長 江幡宏之、交通課長 松下和則、警備課長 瀬戸伸也 計10人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 諮問 「風水害発生時における警察の対応について」</p> <p>2 答申 ・ 装備資器材の使用訓練の実施 ・ 他機関との連携と合同訓練の実施 ・ 住民に向けた災害対策の広報の実施</p> <p>3 措置結果 ・ 災害対策総合防災訓練を実施し、交通課員による発動発電機操作訓練や簡易レッカー操作訓練、信号操作訓練等を行った。 ・ 署内で簡易担架による救出救助訓練や災害発生時の被留置者搬送訓練、当直時対応訓練を実施した。 ・ 行政機関と連携し、防災無線通話訓練や衛星可搬端末通話訓練等の合同訓練を実施した。 ・ 海老名中央公園で開催された地域振興関連の催し物において、防災啓発用チラシを配布し、住民に向けた災害対策広報を実施した。</p>
	諮問
	特殊詐欺の現状と未然防止対策について
	答申
	<p>1 迷惑電話防止機器の貸し出し事業の推進</p> <p>2 関係機関と連携した広報啓発活動の推進</p> <p>3 事業所等と連携した被害防止対策の推進</p> <p>4 若者を特殊詐欺の加害者にさせない取組の実施</p>
	業務説明
	前四半期（7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（10月から12月まで）の業務推進重点について説明を実施した。
	協議会からの要望・意見等

- ・ 迷惑電話防止機器は詐欺の未然防止に高い効果があるので、貸し出し事業をさらに拡充してほしい。
- ・ 行政や自治会、身近なコミュニティを通じた広報啓発活動や、宅配便業者等の事業所と連携した被害防止対策を推進してほしい。
- ・ 小学校・中学校・高校での啓蒙活動やSNSのパトロールを強化して、若者を犯罪者にさせないよう規範意識の醸成を図ってほしい。